



■梱包明細

■把手セット

※取付け前に必ず梱包内容をご覧ください。

●バーハンドル

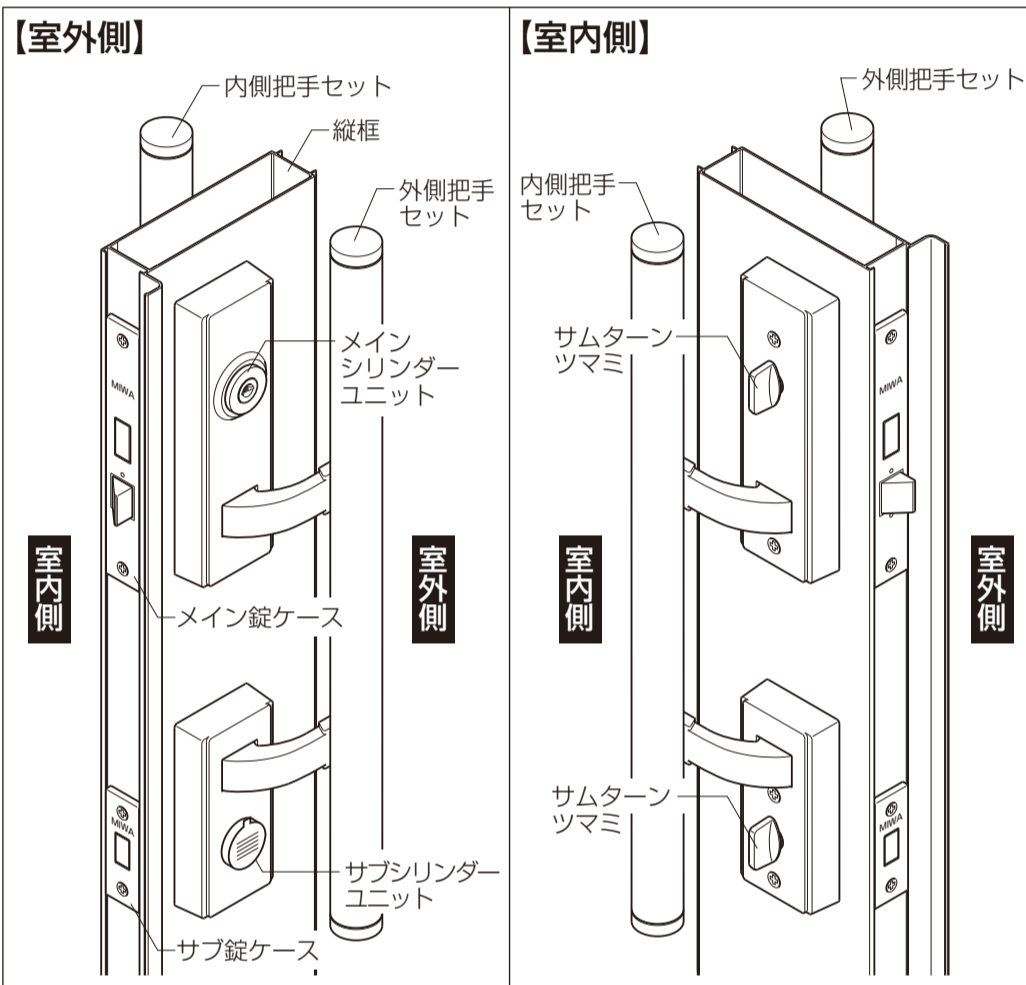
名称	入数	詳細
外側把手セット	1個	皿小ねじM5×30 / 4本
内側把手セット	1個	
メイン錠ケース	1個	皿タッピンねじφ4×12 / 2本
サブ錠ケース	1個	皿タッピンねじφ4×12 / 2本
メインシリンダーユニット	1個	なべ小ねじM5×25 / 4本
サブシリンダーユニット	1個	オーナーキー / 1本、子鍵 / 4本 コンストラクションキー(工事用キー) / 3本
取付け説明書	1枚	—
お施主様マニュアル	1冊	—

●レバーハンドル

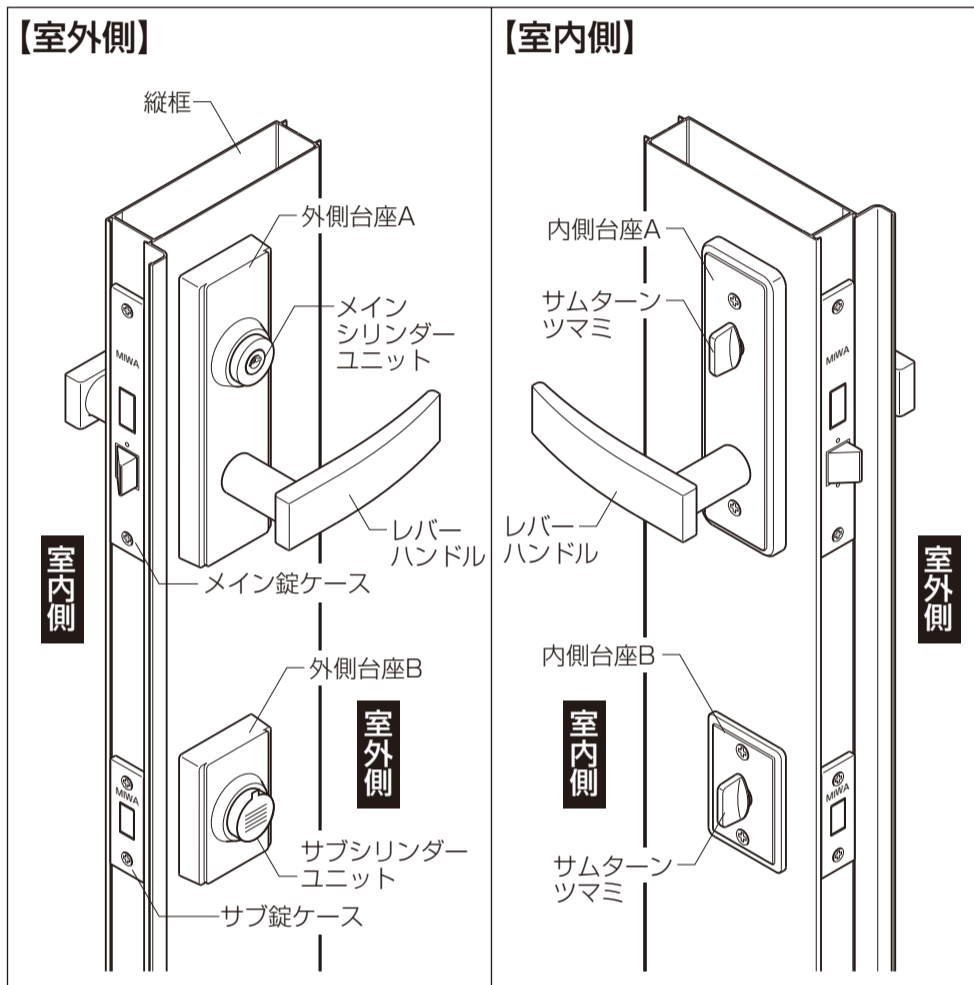
名称	入数	詳細
レバーハンドル	2個	角芯付き・なし / 各1個
外側台座 A・B	各1個	皿小ねじM5×30 / 4本
内側台座 A・B	各1個	
メイン錠ケース	1個	皿タッピンねじφ4×12 / 2本
サブ錠ケース	1個	皿タッピンねじφ4×12 / 2本
メインシリンダーユニット	1個	なべ小ねじM5×25 / 4本
サブシリンダーユニット	1個	オーナーキー / 1本、子鍵 / 4本 コンストラクションキー(工事用キー) / 3本
取付け説明書	1枚	—
お施主様マニュアル	1冊	—

■取付け完成図

■バーハンドル



■レバーハンドル



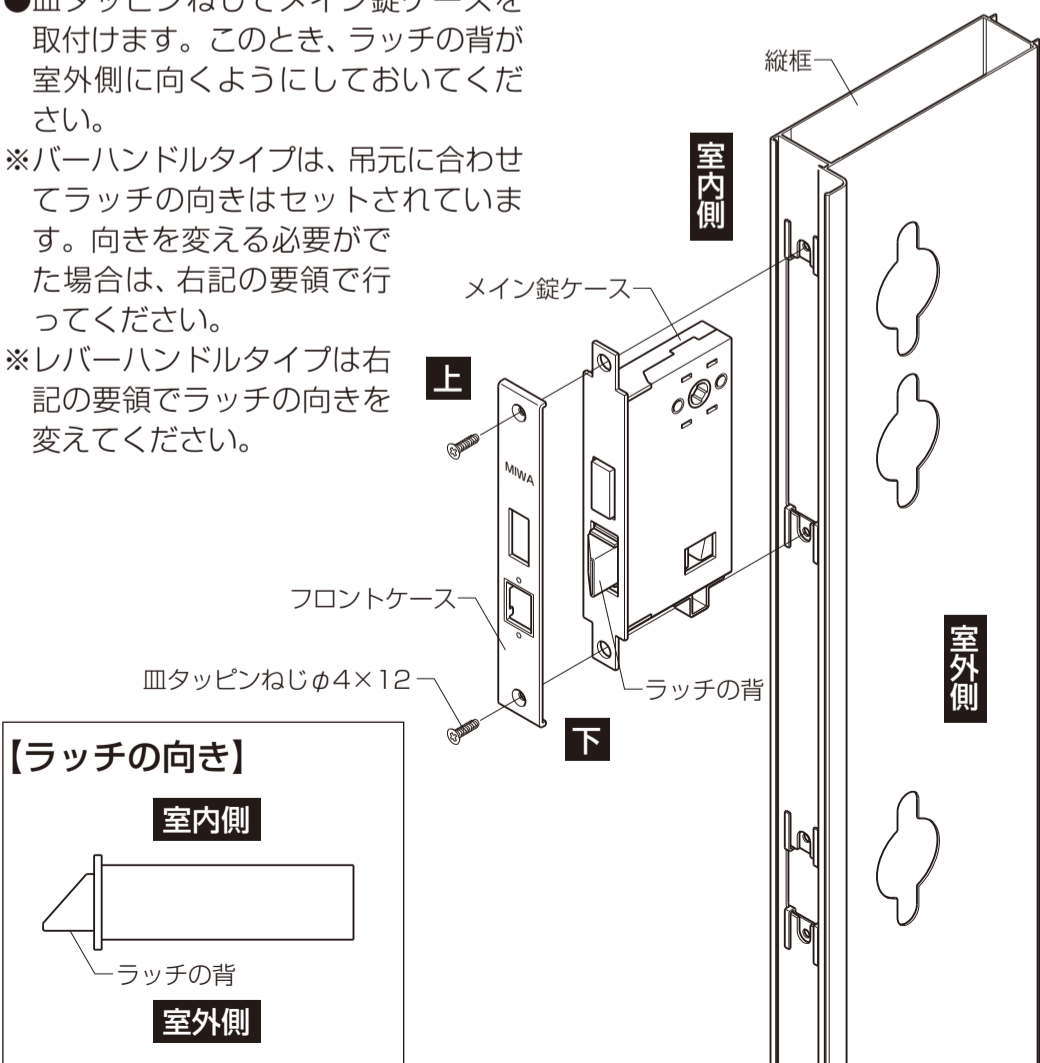
■取付け手順

1 メイン錠ケースの取付け

●皿タッピンねじでメイン錠ケースを取付けます。このとき、ラッチの背が室外側に向くようにしておいてください。

※バーハンドルタイプは、吊元に合わせてラッチの向きはセットされています。向きを変える必要ができた場合は、右記の要領で行ってください。

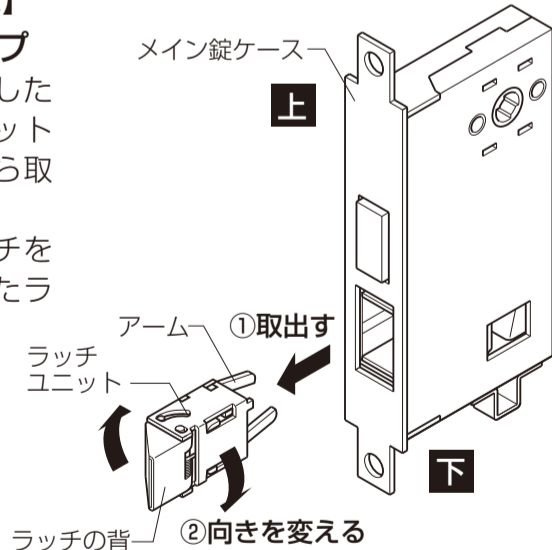
※レバーハンドルタイプは右記の要領でラッチの向きを変えてください。



【ラッチの向きの変更】

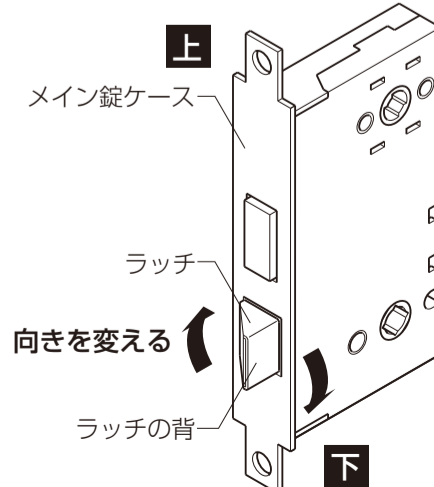
■バーハンドルタイプ

- ①フロントケースを外した状態で、ラッチユニットをメイン錠ケースから取出してください。
- ②アームを広げてラッチを倒します。次に倒したラッチを指で押さえながら、ラッチユニットを扉の勝手に合わせてメイン錠ケースに差込みます。



■レバーハンドルタイプ

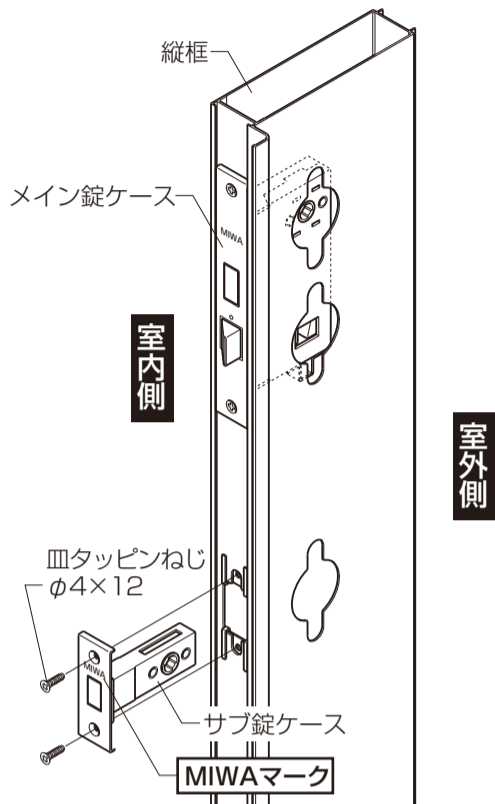
- フロントケースを外し、ラッチを回転させてください。



2 サブ錠ケースの取付け

※「1ロック仕様(特注)」の場合、この工程は不要です。

- 皿タップピンねじでサブ錠ケースを取付けます。このとき、サブ錠ケースの「MIWAマーク」を上側にして取付けてください。

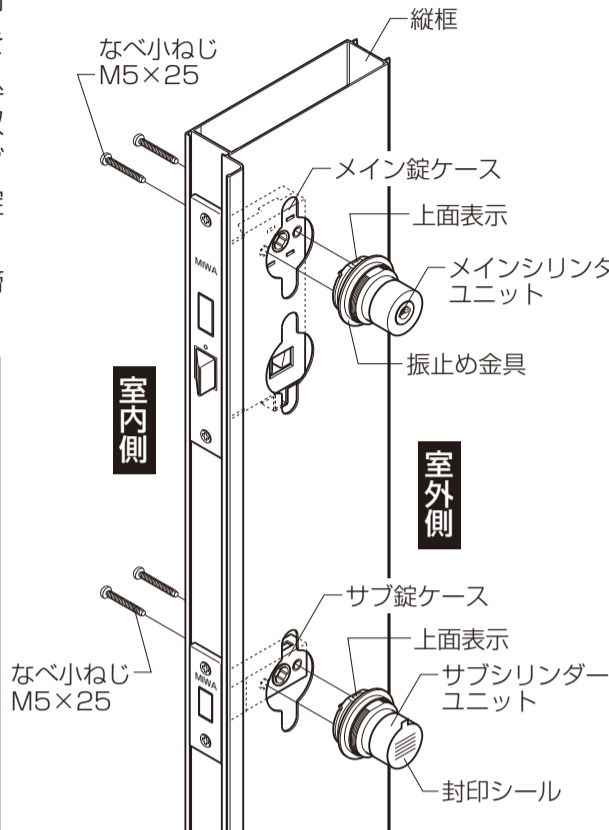
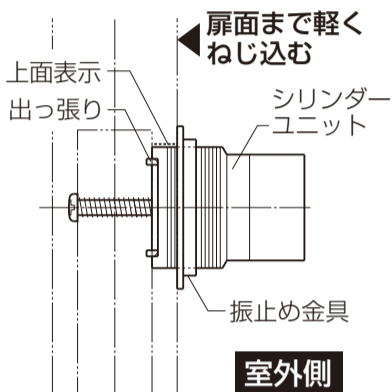


3 シリンダーユニットの取付け

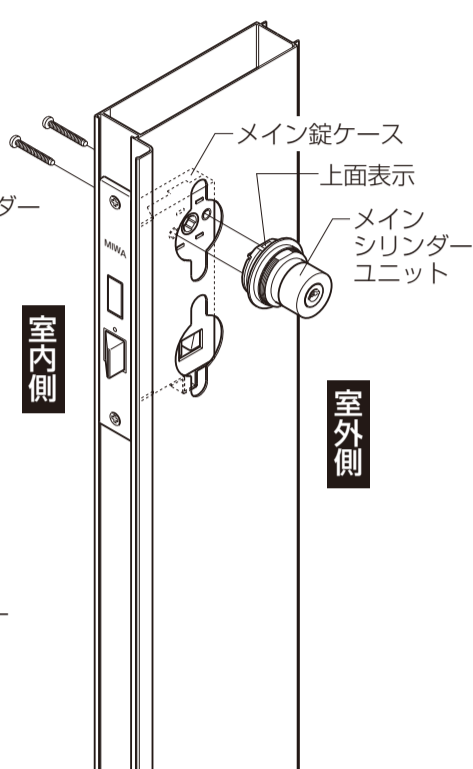
※「1ロック仕様(特注)」の場合、③の工程は不要です。

- ①シリンダーユニットの振止め金具を左に回してゆるめます。(下図参照)
- ②メインシリンダーユニット(「封印シール」なしの方)の上面表示を上にして、メイン錠ケースに差込み、室内側よりなべ小ねじで取付けます。このとき、シリンダーの4カ所の出っ張りとメイン錠ケースをかみ合わせてください。
- ③サブシリンダーユニット(「封印シール」付きの方)の上面表示を上にして、サブ錠ケースに差込み、室内側よりなべ小ねじで取付けます。このとき、シリンダーの4カ所の出っ張りとサブ錠ケースをかみ合わせてください。
- ④振止め金具を扉面まで軽く締めます。

【取付け詳細】



【1ロック仕様(特注)】

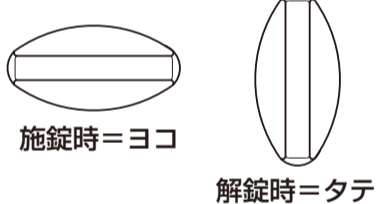


4 外側・内側把手セット又はレバーハンドル・台座の取付け

■バーハンドルタイプ

- ①外側把手セットを室外側から差込みます。
- ②内側把手セットのサムターンツマミを縦にした状態で室内側から差込み、皿小ねじで取付けます。

【サムターンツマミの正しい状態】



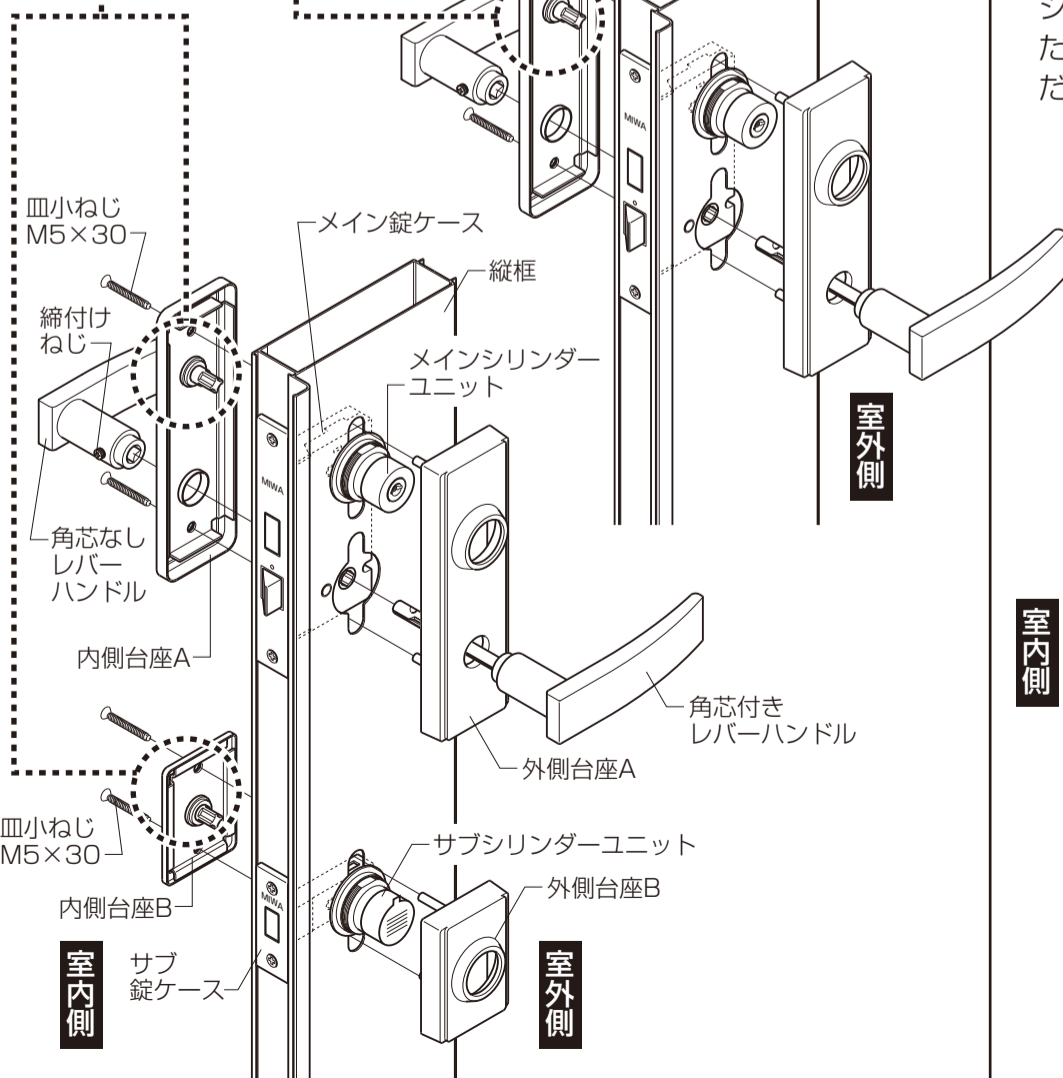
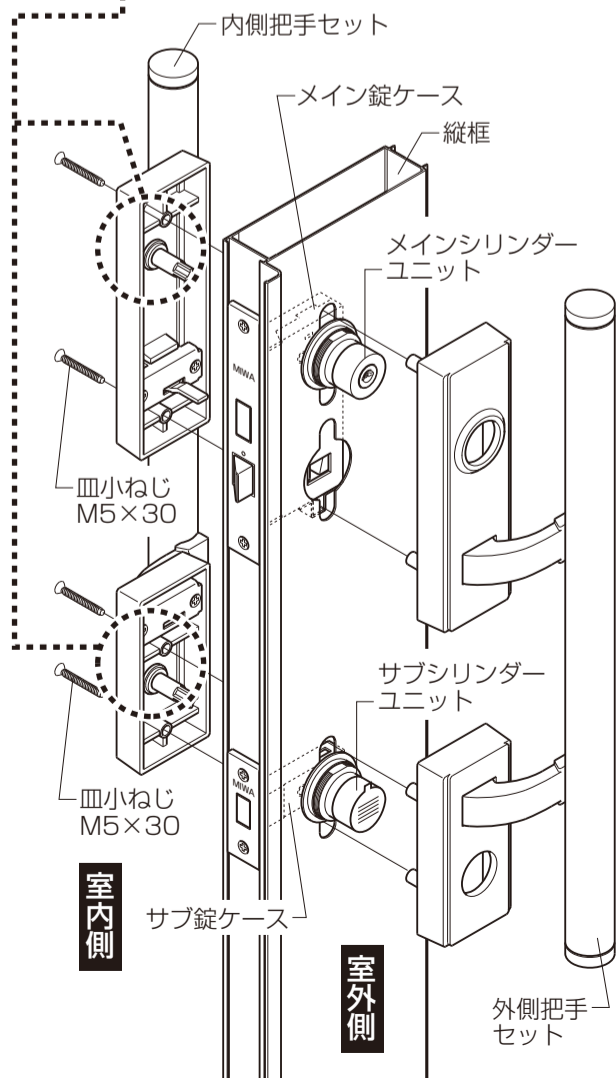
■レバーハンドルタイプ ※「1ロック仕様(特注)」の場合、③④の工程は不要です。

【サムターンツマミの正しい状態】



- ①外側台座Aを室外側から差込みます。
- ②内側台座Aのサムターンツマミを縦にした状態で室内側から差込み、皿小ねじで取付けます。
- ③外側台座Bを室外側から差込みます。
- ④内側台座Bのサムターンツマミを縦にした状態で室内側から差込み、皿小ねじで取付けます。
- ⑤角芯付きレバーハンドルを室外側より差込みます。次に室内側から、角芯なしレバーハンドルを押込み、締付けねじで固定します。

【1ロック仕様(特注)】



■コンストラクション装置について

- メインシリンダーユニットには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主様専用のキーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後は、コンストラクションキーでは解錠できなくなります。
- サブシリンダーユニットには、コンストラクション装置が組込まれていないため、封印シールが張ってあります。施工後、シールをはがし作動を確認した後、お施主様にお引渡しく下さい。

